

紹介受診重点医療機関の選定 (田辺医療圏)

令和5年7月27日(木) 14:00～
田 辺 保 健 所



参考

事務連絡
令和5年5月17日

各都道府県衛生主管部（局）御中

厚生労働省医政局地域医療計画課

外来機能報告における協議の場の進め方について（周知）

良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律（令和3年法律第49号）の一部が令和4年4月1日付けで施行され、毎年度、外来機能報告（医療法（昭和23年法律第205号）第30条の18の2第1項及び同法第30条の18の3第1項の規定に基づいて行われる報告をいう。以下同じ。）を行うこととされています。

また、協議の場（医療法第30条の18の4第1項に規定する協議の場をいう。以下同じ。）における外来機能報告を踏まえた協議を円滑に進めるため、外来機能報告等に関するガイドライン（令和4年3月16日策定・令和5年3月31日改正）を策定しているところです。

先般、「都道府県における今後の外来機能報告制度の運用等について」（令和5年3月6日付け医政地発0306第1号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知）において、協議の場の結果の公表についてお知らせしたところですが、協議をより効果的・効率的に進める観点から、外来機能報告における協議の場の進め方の詳細について下記のとおり、御連絡します。

ついては、内容を御了知の上、外来機能報告制度の運用に係る取組について、適切に御対応いただくようお願いします。なお、下記に示す進め方は、あくまでも参考であり、地域の実情に応じた対応が可能であることを申し添えます。

記

1 紹介受診重点外来に関する基準を満たす場合の進め方（別紙における①又は②）

紹介受診重点外来に関する基準、紹介受診重点医療機関における意向等を踏まえ、協議の場において、協議を行う。

その結果、医療機関の意向と協議の場の結論に相違がある場合には、再協議を行う。

その場合、外来機能報告等に関するガイドラインに基づいて、協議を行い、最終的に医療機関の意向と協議の場の結論が合致したものに限り、紹介受診重点医療機関として公表を行うこと。

なお、これらの再協議に至った事例については、協議プロセスの透明性の確保の観点から、紹介受診重点医療機関として公表する際、その協議内容についても公表することが考えられる。

また、紹介受診重点外来に関する基準を満たし、紹介受診重点医療機関における意向がない場合であって、医療機関の意向と協議の場の結論に相違がない場合には、紹介受診重点医療機関にならないものとする。

2 紹介受診重点外来に関する基準を満たさない場合の進め方（別紙における③）

紹介受診重点外来に関する基準、紹介受診重点医療機関における意向等を踏まえ、協議の場において、協議を行う。

その結果、紹介受診重点外来に関する基準を満たさず、紹介受診重点医療機関における意向がある場合には、外来機能報告等に関するガイドラインを踏まえ、協議の場において、紹介率・逆紹介率等を活用して議論を行うこと。

その際、医療機関の意向と協議の場の結論に相違がない場合であっても、当該医療機関が紹介受診重点外来に関する基準を満たしていないことに鑑み、当該医療機関が紹介受診重点医療機関となることによる構想区域全体の医療提供体制に及ぼす影響も協議するとともに、当該医療機関における紹介受診重点外来に関する基準を満たす蓋然性及びそのスケジュール等について、当該医療機関に書面又は口頭で再度説明を求め、紹介受診重点医療機関として公表する際、その内容も公表することが考えられる。

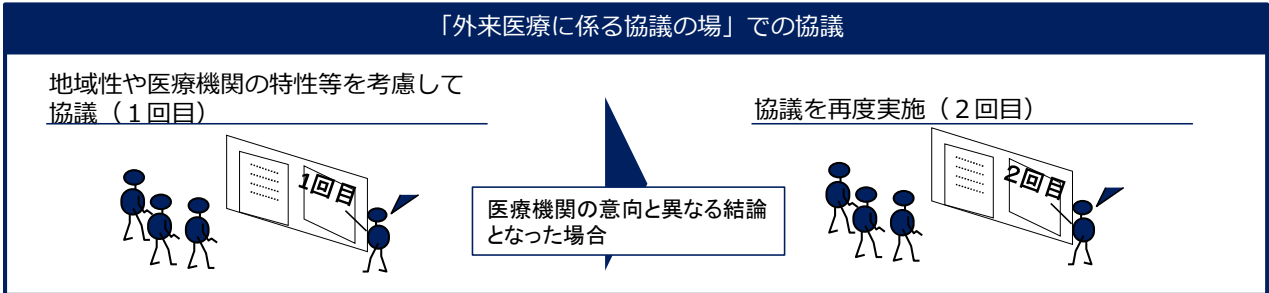
3 その他、協議の場の進め方における留意事項

協議を繰り返す場合又は議論が整わない場合等で、結論を得ることができない場合には、都道府県が協議内容及び結果を公表すること。

【連絡先】

厚生労働省 医政局
地域医療計画課
外来・在宅医療対策室
E-mail: zaitaku@mhlw.go.jp

	意向あり	意向なし
紹介受診重点外来の基準 満たす	1 紹介受診重点医療機関 *「外来医療に係る協議の場」での確認	2 「外来医療に係る協議の場」での協議
満たさない	3 「外来医療に係る協議の場」での協議	

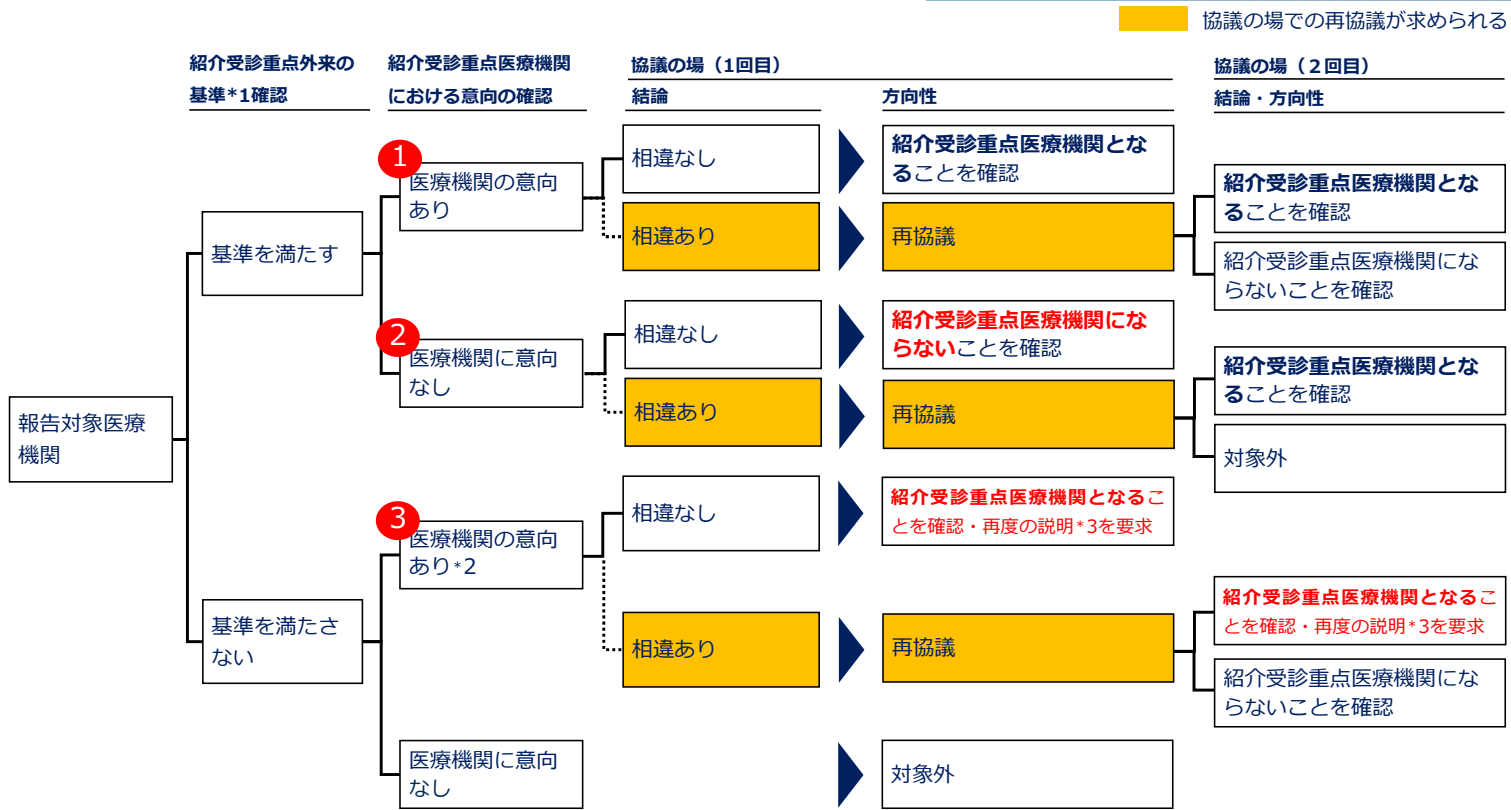


【紹介受診重点外来の基準と医療機関の意向の考え方】

- 1 「紹介受診重点外来の基準を満たす×意向あり」の場合
 - 特別な事情がない限り、紹介受診重点医療機関となることが想定される。
- 2 「紹介受診重点外来の基準を満たす×意向なし」の場合
 - 当該医療機関の意向が第一であることを踏まえつつ、当該地域の医療提供体制のあり方を協議の上、2回目の協議に改めて意向を確認する。
- 3 「紹介受診重点外来の基準を満たさない×意向あり」の場合
 - 紹介受診重点外来に関する基準に加え、紹介率・逆紹介率等を活用して協議を行う。

（参考）「外来機能報告等に関するガイドライン」

協議フローについて



*1 紹介受診重点外来の基準：
・初診基準：40%以上（初診の外来件数のうち「医療資源を重点的に活用する外来」の件数の占める割合）
・再診基準：25%以上（再診の外来件数のうち「医療資源を重点的に活用する外来」の件数の占める割合）
*2 紹介率50%以上かつ逆紹介率40%以上を参考の水準とする。
*3 基準の達成に向けたスケジュール等を書面又は口頭で説明を求め、その内容を公表する。
（参考）「外来機能報告等に関するガイドライン」

令和4年度 外来機能報告より

医 療 機 関 名	構 想 区 域	外来患者延べ数（令和3年4月～令和4年3月）												【参考】紹介率・逆紹介率（令和4年7月）						
		初 診	初診に占める割合						再 診	再診に占める割合						初 診 患 者 数	紹 介 患 者 数	紹 介 率	逆 紹 介 患 者 数	逆 紹 介 率
県平均		340,960	132,810	39.0%	15,206	97,150	59,813	3,737,287	948,361	25.4%	257,678	704,365	62,088	27,372	8,908	32.5%	10,450	38.2%		
南和歌山医療センター	田辺	6,767	4,415	65.2%	468	3,382	2,403	87,602	25,041	28.6%	7,913	18,413	2,691	560	349	62.3%	616	110.0%		
田辺中央病院	田辺	2,444	735	30.1%	43	551	325	28,644	2,845	9.9%	1,356	1,368	426	267	77	28.8%	37	13.9%		
紀南病院	田辺	11,034	8,043	72.9%	1,177	4,156	5,294	132,413	34,483	26.0%	10,296	24,892	1,881	942	493	52.3%	399	42.4%		
玉置病院	田辺	1,147	405	35.3%	13	339	164	15,370	3,525	22.9%	310	3,132	233	87	26	29.9%	27	31.0%		
白浜はまゆう病院	田辺	8,219	1,444	17.6%	142	1,094	383	55,326	6,950	12.6%	2,506	4,415	625	805	102	12.7%	138	17.1%		
南紀医療福祉センター	田辺	877	31	3.5%	0	13	18	15,303	173	1.1%	0	72	102	70	0	0.0%	8	11.4%		
国保すさみ病院	田辺	1,194	188	15.7%	14	140	47	13,143	912	6.9%	419	414	150	141	4	2.8%	13	9.2%		
真寿苑クリニック	田辺													0	0	0.0%	0	0.0%		
榎本産婦人科	田辺	1,535	686	44.7%	7	659	35	3,736	487	13.0%	286	187	23	0	0	0.0%	0	0.0%		
外科内科辻医院	田辺	750	60	8.0%	0	49	15	8,109	338	4.2%	3	242	102	0	0	0.0%	0	0.0%		
辻内科医院	田辺	411	62	15.1%	0	1	61	7,787	186	2.4%	0	19	168	0	0	0.0%	0	0.0%		
辻村外科	田辺	798	142	17.8%	1	113	34	9,403	203	2.2%	37	96	72	75	3	4.0%	9	12.0%		

	初診に占める 重点外来の割合	再診に占める 重点外来の割合	備考
紹介受診重点医療機関の基準	40.0%	25.0%	
南和歌山医療センター	65.2%	28.6%	3次救急
紀南病院	72.9%	26.0%	2次救急
田辺中央病院	30.1%	9.9%	紹介受診重点医療機関となる 意向なし
玉置病院	35.3%	22.9%	〃
榎本産婦人科	44.7%	13.0%	〃
白浜はまゆう病院	17.6%	12.6%	〃
南紀医療福祉センター	3.5%	1.1%	〃
国保すさみ病院	15.7%	6.9%	〃
真寿苑クリニック			〃
外科内科辻医院	8.0%	4.2%	〃
辻内科医院	15.1%	2.4%	〃
辻村外科	17.8%	2.2%	〃

	紹介受診重点医療機関となる意向あり	紹介受診重点医療機関となる意向なし
基準を満たす	<p>南和歌山医療センター、紀南病院</p> <p>特別な事情がない限り、紹介受診重点医療機関となることが想定される ⇒「意向」と「協議の場の結論」が合致すれば、県から紹介受診重点医療機関として公表</p>	<p>当該医療機関の意向が第一であることを踏まえつつ、地域の医療提供体制について協議 ⇒「意向」と「協議の場の結論」が合致すれば、紹介受診重点医療機関にはならない</p>
基準を満たさない	<p>紹介率・逆紹介率等を活用しながら協議 ⇒「意向」と「協議の場の結論」が合致すれば、基準を満たす蓋然性やスケジュールについて再説明</p>	<p>その他の病院・有床診療所 (協議なし)</p>

基準：初診に占める重点外来の割合が40%以上 かつ 再診に占める重点外来の割合25%以上

紹介受診重点医療機関となった場合

- ・県から医療機関へ、公表日等について事前通知
- ・厚労省や県ホームページ等で、紹介受診重点医療機関の一覧を公表（翌月1日付）

➤ 診療報酬等の取扱い

- | | | | |
|--|---|-----|-----------------|
| <div style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</div> | 紹介受診重点医療機関入院診療加算、連携強化診療情報提供料
(※一般病床200床以上) | ・・・ | 公表日から算定可能 |
| | 紹介状なしで受診する場合の定額負担の徴収
(※一般病床200床以上) | ・・・ | 公表日から6か月以内に請求開始 |

(注) 算定要件の詳細等は、近畿厚生局にご確認ください



始まります。 紹介受診重点医療機関。



それは、かかりつけ医からの紹介状を持って
受診いただくことに重点をおいた医療機関です。

- この制度により、医療機関の混雑緩和や、スムーズな受診につながります。
- 紹介状がなく来院された場合は、一部負担金(3割負担等)とは別に、「特別の料金」がかかる場合があります。

上手な/
医療の
かかり方

症状



かかりつけ医



紹介状を持って
「紹介受診重点医療機関」へ

2023年新制度スタート

1 「紹介受診重点医療機関」とは？



- 外来受診の際に紹介状が必要となる医療機関です。
- 手術・処置や化学療法等を必要とする外来、放射線治療等の高額な医療機器・設備を必要とする外来を行っています。
- 「紹介受診重点医療機関」の情報は、都道府県や厚生労働省のホームページをご確認ください。



へえどうやって受診するの？

2 紹介状を用いた受診のながれ



- 「かかりつけの医療機関」を受診後、専門的な検査や治療が必要と判断された場合に紹介状が発行されます。
- 紹介状を持って「紹介受診重点医療機関」を受診し、専門的な検査や治療を受けた後は、「かかりつけの医療機関」にて、経過を見てもらいましょう。
- 「かかりつけの医療機関」と「紹介受診重点医療機関」の役割分担により、患者さんが適切な検査や治療をよりスムーズに受けられるようになり、待ち時間の短縮等が期待されます。

なるほど！
待ち時間が
減るのはいいね！



3 新しいかかり方のコツを 覚えて 通院しましょう！

